

ふるさと通信

第101号 令和2年4月15日
八鹿地区自治協議会
Tel.Fax 079-662-8778
E-mail yoka-jichi@yoka-jichi.com

※みなさんの写真が掲載されることがありますが広報にご理解をお願いします。



上の学年がすっかり全体を見
てました。地域の方もすっかり
サポート。気持ちのいい朝です

町の元気は 子どもたち から

今年の春は大変、コロナ騒ぎで大変。先月はとうとう学校休業という事態に、外に子どもたちの姿も見えず町が沈んだ状態。やっと、春休み、桜満開、始業式、入学式と子どもたちの笑顔も見えるようになりました。やっぱり子どもたちの笑顔が一番です。

4月8日(水)小学校の入学式がありました、今年の新入学生は37人。全校児童数は246人。地域の宝です。先月までお家の人に送ってもらってこども園に通っていた子どもたちが今はランドセルを背負って頑張りの登校下校です。「頑張れ！」と手を出さず声掛けで応援です。

桜スポット 今年の桜はいかか



竹ヶ端公園

上網場 夜はライトアップ



小佐川 (九鹿・岡)



高！
大型クレーン

天子 フレッシュバザール前



ここにも桜



駅前(下)根性さくら 子桜 孫桜

八鹿 大森山

頂上から上網場



大森山 406m



三角点

町を見守るようにそびえる大森山。冬の間は木々の葉っぱが落ちて山肌が透けて見え、この時期山に入ると山頂から八鹿の町を見渡すことが出来そう、登ってきました。尾筋筋伝いにカンス岩 288m、反射板のある山 366m、大森山 406m。山頂は測量基本になる三角点があります。見晴らしは うーん

元町公会堂
以前は冬季宿舎

愛宕山から見る元町区



今月の我が村(区) 元町区 学校、神社、教会、寺院もあります

今月は元町区。区長の中村さんにお聞きました。「現在16世帯、小さな区です、他の区で言うと一つの隣保といった程度かと思いますが、ちょっと他所の区と違うのはこんな小さな区ですが学校あり、神社あり、教会あり、お寺あり、と色々です。ちょっと変わった区でしょう、自慢です。」なるほど八鹿小学校、三柱神社(新町・元町・旭町)、金光教、永源寺と小さな区に集中です。区の発祥は門前町であったようです。以前は三谷から八鹿中学校に通学する生徒のために冬季宿舎がありました、今は元町区の公会堂です。区の運営はどうですか？「やはり小さな区です、村の役員になった人の任期が永くなってしまい大変です。」区長の中村さん、八鹿地区で自治協、区長会、夏まつりの監事として2年、会計監査などご無理を申し上げます。「特区」を活用し朝倉区で農村レストランを出店、ここでもご活躍です。頑張ってください。

駅前(下)根性さくら 子桜 孫桜

苦渋の決断夏まつりは中止



苦渋の決断をしました。

再三再四にわたり夏まつり実施に向けて区長会等役員会で議論を重ねて来ましたが、例年にない課題がありました。

●開催日について:例年は土・日曜日の二日間。翌月曜日海の日祝日にPTCA事業により高校生とともにまつり後のゴミ拾いなどまちの美化。ところが今年はオリンピック関連で月曜日は平日。今年に限り土曜日花火、日曜日PTCAを予定7月18日(土)花火大会としましたが……。

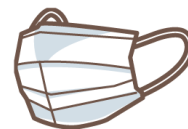
●警備について:オリンピックに関連して地方からも警察・警備会社も東京に動員要請のあることが分かり、そうした状況下において八鹿なつまつりに十分な警備体制をきずくことが出来るのか大きな難題を抱えることに直面。例年行事の「ようかおどり」、他「イベント」を見合わせることで区長等実行委員を警備スタッフとして投入することで解決しよう?としましたが……。

●「造りもの」は折角の区民力作が土曜日一日のみの展示にならざるを得ないなか、実行委員会においてもスタンプラリー準備、作品審査など多くの労力が必要、このため「造りもの」も中止、その余力を警備強化に向けることにしようとしたが……。

●新型コロナウイルス:爆発的な感染拡大になりかねない状況。今のところ感染者ナシ、屋外イベントだからOKでは、夏頃には収束するのでは…過剰反応をしなくても…との意見も出ましたが、安全を期すためには決断英断が必要。

以上を踏まえて、今年のようななつまつりは中止としました。楽しみにしていただいた皆様には大変申し訳ございません。なにとぞご理解いただきますようお願い申し上げます。また、関係する皆様には開催に向けてご尽力いただきましたが誠に申し訳ありません。ご理解お願いいたします。

人の集まる場所
は必ずマスクを



●次に向けて:

去年の夏まつり反省会をもとに実行委員会では様々な課題に取り組んで来ました。

キーワードとなったのは「安心安全なまつりの運営」でした。他の花火大会と比べて見ました。

例えば海辺の花火大会は海岸や沖合船台から花火を打ち上げ観客は砂浜海岸で安心して花火を観ることが出来ます。豊岡など大きな河川敷が花火打ち上げ会場となっている場合も堤防敷など安全な場所で観覧することが出来ます。また、グラウンドに観客を集めて催し物飲食バザーなど会場を集中し安全な運営をする関宮花火大会などがあります。…

…比較して私たちの八鹿夏まつりは観客が落ち着いて腰を降ろして花火を楽しめる場所がありません、街中は露店で賑わいがあるものの救急など非常時への不安も残ります。

安心安全なまつりの運営のために限られた人員資金で万全の備えを対策をどこまで講じることが出来るか、再三再四実行委員会で検討を重ねて来ました。

更に関係機関とも協議を重ね来年以降の安心安全なまつり開催に向け行きます。

花火も打ち上げられない町にしない 手を引かれてまつりを楽しむ 子どもたちの笑顔は絶やさない

今年は特に冬は暖冬で様々な業界業種のみなさんに大きな影響がありました、そこへ全世界で新型コロナウイルスに脅かされる状況です。

来年に向けて頑張りましょう。

気をつけて

自治協、区長会、夏まつり合同の役員会も席を広くとってマスク着用、途中窓を開けて換気ひたすら警戒です。



●行事予定

今は、新型コロナウイルスの感染防止が一番当分の間、自治協事業、ふれあい倶楽部は自粛します。ご理解お願いします。